

「スマートストア実現に向けた 電子タグ(RFID)実装へのアプローチ」を策定

発行：(一社)日本チェーンドラッグストア協会 広報担当

一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会は経済産業省とともに、平成 30 年 3 月 16 日、スマートストアの実現を目指す「ドラッグストア スマート化宣言」を策定しました。この実現に向けて、このほど、本協会は「スマートストア実現に向けた電子タグ (RFID) 実装へのアプローチ」を策定しました。

1. 背景と目的

- ドラッグストアで扱う商品カテゴリーは、医薬品、日用雑貨・トイレタリー、飲料・食品等多岐に渡るため、短期間で全ての商品へ電子タグ (RFID) を実装するという道筋は、必ずしも容易ではありません。
- 一方、人手不足や労務コストの上昇、コロナ禍での生活様式の変化への対応は喫緊の課題であり、SDGs などの社会的課題への対応もサプライチェーンとして対応すべきという要請もより高まってくると予想されます。
- そのため、(一社)日本チェーンドラッグストア協会は、令和 2 年度に経済産業省の支援を受けて実証実験及び検討会(※)を実施し、ドラッグストアだけではなく、製造・生産事業者や卸売・物流事業者にもメリットが想定されるアプローチで電子タグ (RFID) 実装の準備・検証を進めています。

2. 電子タグ (RFID) 実装に向けた留意事項

- 物流資材や商品への電子タグ (RFID) 実装に必要なコストについては、ドラッグストアが受益に基づいた応分の負担を行うなど、製・配・販における適切な費用負担を目指します。

3. 電子タグ (RFID) 実装へのアプローチ

①電子タグ (RFID) 付き物流資材 (パレット、カゴ台車、オリコン等) を活用した検品効率化、誤配送防止によるコスト削減

- 製造・生産事業者や卸売・物流事業者、小売事業者の物流拠点において物流資材に貼付した電子タグ (RFID) に積み付けた商品を紐づけ、配送先に事前出荷情報 (ASN) を

送付することによる入出荷検品の効率化、誤配送防止の実現に向けた準備・検証を進めています。

②高級化粧品や香水など高額商品への電子タグ（RFID）実装による売上拡大

- 高級化粧品や香水など高額商品に電子タグ（RFID）を実装することにより、盗難の防止に加えて、店頭やバックヤードでの日常的な棚卸を実施し、在庫情報等を製造・生産事業者と共有することによる迅速な商品補充などを通じた売上拡大の実現に向けた準備・検証を進めています。

※RFID実証実験及び検討会

事業名 令和2年度「流通・物流の効率化・付加価値創出に係る基盤構築事業」
（サプライチェーン各層でのRFID導入コスト及び効果検証事業）

主催 経済産業省

事務局 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

概要 ①サプライチェーンにRFIDを導入した際の製・配・販各層における導入コスト及び効率化の効果を検証・数値化（実証実験）

②検証を踏まえて、RFID導入に係る製・配・販での負担のあり方等を整理し、指針を策定（検討会）

参加者 一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 業界システム化推進委員会メンバー、他

※第21回JAPANドラッグストアショーオンラインで報告会開催

RFID実証実験につきまして、3月17日(水)、19日(金)に報告会を第21回JAPANドラッグストアショーポータルサイト内でオンライン配信いたします。ぜひご覧ください。

日時：3月17日(水) 11:00～11:40

3月19日(金) 11:00～11:40（再配信）

方式：オンライン配信

入場料：無料

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 日本チェーンドラッグストア協会 事務局

サポートセンター

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10 楓第2ビル4階

TEL. 045-474-1311 FAX. 045-474-2569